

2006年度 代表事業③

事業名

しずおか未来学園 前期教室

委員会

「夢」はぐくむ静岡委員会

委員長：内田 貴典

副委員長：中岡 秀之
副委員長：田辺 真一郎
幹事：影山 昌弘



事業趣旨要約

子供たちが、自ら考え、自ら決断し、自ら行動することができるようになる。それは自立した個人として生きていける力でもあり、その原動力となるものが、将来に対する「夢」ではないのでしょうか。そこで私たち(社)静岡青年会議所、「夢」しずおか青少年室は、この事業を通じて子供たちが「夢」を持つ事によって、将来に思いを抱き、自分の未来に「無限の可能性」があることを知るとともに、夢を持つことの大切さを学んでもらいます。また子供たちだけでなく、メンバーや親御さんそして先生を含む教育関係者がこの地域教育事業を体感することにより、地域教育の必要性と重要性を再認識して頂ければ『しずおか』の明るい未来を創造していく事が出来ると思います。「しずおか未来学園前期教室」では、社会体験学習等を通して未来の自分探しをすること、夢を持つことにより、「何事にも負けることなく強く生き抜いていく力」、「他人に対して思いやりを持って心」など、人間形成に大切なことを学んで頂きます。そして、この事業に参加して頂く子供たち、それに付き添ってくる保護者の方たち、教育関係者の皆様、そして我々、(社)静岡青年会議所のすべてのメンバーが新しい活動エリアの中で、新しい仲間たちと協働していく事により将来、地域全体に夢があふれ、子供たちが大いに夢を語り合うことが出来るような社会の実現を目指して本学園の運営をいたします。

背景

戦後より目覚ましい経済発展を遂げてきた日本国、この時代は日本全体が経済的には大変しい時代でありましたが、それを原動力にして今日の日本経済が存在しております。しかし、現在の日本を考えたとき不景気と言われながらも貧困に喘ぐ人たちはほとんどおりませんが、その分現代社会を見ても判る通り、気持ちに余裕がない世の中になっているのではないのでしょうか？本来日本には、昔から受継がれて来た道徳観や物や文化を大切にすることがあつたはずですが、現代社会においてはそれが失われつつあるのではないのでしょうか？そこで「しずおか未来学園」ではこの失われつつあるものを、学校教育だけでなく、家庭や地域と協働しながら、この地域の未来を担う子供達に(社)静岡青年会議所が積極的に関わり伝えていく為の事業と考えます。

効果

・「夢」をテーマに独自の学校を創造し、子供たちの「夢」の手助けをする。
・教育関係者や親御さんたちがただ子供たちに付き添うだけではなく、一緒になって学ぶことが出来る授業を行う。

例会の流れ・目的

基本方針

- スローガン～みつけよう！夢の道しるべ～
- サブタイトル：夢と心の教室

しずおか未来学園夢創造例会前期教室」各分野のスペシャリストをお招きし、職業に対する理解をはじめとして、そこに行き着くまでのプロセスや努力をすることの大切さ、自分を取り巻く人々への感謝の心などを知ってもらうため、講師の生による講演やミニ体験学習を行う
～講師～衆議院議員、歯科医、サッカー選手、アナウンサー、パティシエ、ネイルアーティスト、料理人、介護福祉士、大道芸人、インテリアコーディネーター、警察官、内科医、旅客機パイロット、フライトアテンダント、新聞記者、幼稚園先生、ミュージシャン、理容師、お花屋さん、弁護士、コンピュータープロ

【前期教室当日】

- 9:30～9:45 開校式
 - 1 理事長挨拶 静岡青年会議所理事長 鈴木秀幸理事長
 - 2 開催校代表挨拶 末吉校長先生
 - 3 事業趣旨説明 静岡青年会議所 内田貴典委員長
 - 10:00～10:40(40分) 1時限目授業
 - 11:00～11:40(40分) 2時限目授業
 - 13:00～13:40(40分) 3時限目授業
 - 14:00～14:40(40分) 4時限目授業
 - 15:00～16:00(60分) スペシャル授業 ～陰山英男氏講演～
- 参加頂いた子供たちに、1自分の未来を見つめる強い心、2自分の夢を探すことの大切さ、3自分を取り巻く人々へ思いやりと感謝の心、4夢を実現する為の一步の大切さ、を学んで頂くため陰山英男先生をお招きし講演を行った。
16:15～16:30 片付け
16:50～17:00 閉会セレモニー
閉会宣言 静岡青年会議所 内田貴典委員長
17:00 例会終了

達成検証

・「夢」をテーマに独自の学校を創造し、子供たちの「夢」の手助けをする。

所見

委員会事業に関しては「しずおか未来学園」と言う事業を通じて改めて地域教育並びに青少年教育の重要性並びに必要性を再認識することも出来ましたし、(社)静岡青年会議所として今後もおこなっていく「まちづくり」「ひとづくり」の一つの指標となるような事業が出来たと思っております。

最後に私が本年度LOM内外で経験したことや学んだことを次年度以降に生かし、又引き継いでいくことが(社)静岡青年会議所にとって重要なことになってくると思っておりますので、私自身本年度以上に次年度は頑張っていきたいと思っております。

目的

- ・子供たちに必要な夢の道しるべになること。
- ・日本古来よりある道徳心を子供たちにわかりやすく教えていく。
- ・社会生活で成功している方々の話を聞き、未来の自分を考えてもらう。
- ・親御さんや教育関係者としてメンバーが地域教育事業を体感する事により、地域教育の必要性や重要性を再認識してもらう場を提供する。

事業概要

日時場所:2006年7月9日(日)8:30～16:00静岡サレジオ小学校・中学校・高校
参加人数:
事業総額:1,260,000円※室内合算集計総額



担当委員長Q&A

01 参加する子供たちの成長だけでなく、参加した親御さんや教育関係者にとっても有意義なものとなったようですが、事業にかかわる方々すべてを巻き込み成功させた要因は何だったと思いますか？

親を呼んだのは初めてで、何か新しい事をしたかったです。スペシャルゲストを親向けか子供向けにするか悩みました。影山先生の講演は、思った以上に子供が楽しそうでした。成功の基準は人それぞれでわかりませんが、結果的に喜んでもらえ、達成感を得ました。

02 授業中の子供たちの反応はいかがでしたか？

良かったと思います。実際、子供たちから見たい事業の希望を取りましたが、希望通りには出来ませんでした。すべて振り分けるには限度があったからです。JCが、普段経験することが出来ない事を提案することで、それに子供たちは順応してくれました。人気だったのは、パティシエ、CA、レスキューで、学習型よりも体験型が良かったのかもしれない。

03 1000名近い子供を参加させるといふ大きな事業です。他の委員会に振り分ける仕事も多々あったと思いますが、どのようにしてまとめられたのでしょうか？

各委員長同士、仲が良かったのです。委員長連絡会を行って、事前に協力体制を作っていました。その結果、スムーズに進める事ができました。委員会のメンバーに対しても、強制的ではなく、皆で協力的にという考えでございました。

04 子供たちの成長、変化を見て委員会メンバーの意識はどのように変わっていききましたか？

予想の域を出ませんが、委員会メンバーが全員、この事業をやりたいのか？委員会メンバーが全員、この事業が楽しかったかどうか？ということが重要であると考えます。実際に、役割分担を明確にして、大変な事でもみんなが何とかしてくれました。

04 各学校、PTAなどの外部に対してどのようなアピールが出来たと思いますか？

JCOBの先輩達との繋がりが重要でした。JCという合い言葉だけで、PTAともつながることができました。また、IBOBIには頼らず、新しいJCをつくろうという意識を強く持ちました。そんな中、サッカー部やじゃがいもクラブなど、同好会がものすごく大切だと感じます。

05 現在の「未来学園」についてどのような感想をお持ちですか？

同じことを続けなくてもいいですし、委員長がやりたいと思うことをやっていけばいいと思います。体制からの観点は、委員長と常任との関係性がものすごく重要です。最後に現役メンバーに対して、昔の静岡JCは人間づくりに一生懸命でした。旧JCにはしっかりとした柱がありましたが、今は無い気がします。静岡JCの向かっている先が明確でないのではないのでしょうか。JCは助け合いです。皆でJCバイブルを読みましよう。

取材全体としてのまとめ・感想

LOMを上げての大きな事業成功の秘訣を伺うことが出来ました。また2007年の未来学園が今現在の未来学園のモデルとなっていることを知ることが出来ました。初めて親を招くなど、今までなかった事を生み出すのは大きな苦勞を知りましたが、苦勞した分大きな達成感があることをお話を伺う中で強く感じました。

取材前と後での特に気付いた点

事業成功のためには、委員会メンバー内の絆も重要ですが、委員長同士の横の繋がりが重要であることが分かりました。事業を行う上での段取りや根回しが行き届いていれば事業成功につながり、その点についてはJCのみならず、仕事にも精通すると感じました。

